

り
「ぶら^り里まち歩き」福野冬編
～年末の風物詩・歳の大市と
福野縞織体験～

2017. 12. 27 (水)

福野地域では毎月二と七のつく日に朝市が開かれています。慶安3年(1650年)の町立てから現在まで続いております。

四月春の訪れとともに朝市が始まり、その市の締めくくりである「歳の大市」では、近郷からも正月用品が持ち寄られ、大勢の老若男女で賑わいます。



福野駅前9時集合 (駅駐車場をご利用ください)

コース 福野駅 9:00 → ギャラリー市の里 1号館 → 曳山蔵 → ギャラリー市の里 6号館 (福野縞織見学・ミニ体験) → 生涯学習施設「喜知屋」(旧柴田邸) 菅創吉の作品ほか見学・休憩 → 銀行四つ角にて解散 11:30 頃 大市でのお買い物をお楽しみください。

(歳の大市の町並みから福野駅まで約0.5km、約5分)

参加費 500円 (喜知屋入場料、お茶代含む) 当日集金

申込み 12月20日までに南砺市観光協会 (FAX 0763-62-1202) または
南砺市観光協会福野観光案内所 (福野駅内) へ (TEL 0763-22-8700)
(FAX 0763-22-8707)

▶▶▶▶▶ 一口メモ ◀◀◀◀

加賀藩御用達「福野縞織」



寛政年間(1789年)加賀藩の幕用布の織布を命ぜられたことから、改良を重ねて、菅大臣縞といわれる福野縞の基礎ができました。木綿織が主流で、最近まで贈答用に色紙掛けや小物入れがつくられていました。現在は織り機での体験コースの開設に向けて、後継者育成の講習を行っています。